

(Translation)

Japanese Utility Model Laid-Open Publication (U)

Publication No.: Hei 02-123399

Date of Publication: October 11, 1990

Int'l Cl.: B 30 B 15/28

15/00

15/06

Title: SLIDE LOCK APPARATUS FOR PRESS

Utility Model Application No.: Hei 01-31354

Date of Application: March 22, 1989

Inventor: Kazuhiko SHIROZA

Applicant: KOMATSU LTD.

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-123399

⑬ Int. Cl.⁹B 30 B 15/28
15/00
15/06

識別記号

D 8719-4E
C 8719-4E
G 8719-4E

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)10月11日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全1頁)

⑮ 考案の名称 プレスのスライドロック装置

⑯ 実 願 平1-31354

⑰ 出 願 平1(1989)3月22日

⑱ 考 案 者 城 座 和 彦 石川県小松市矢田野町ル89-1

⑲ 出 願 人 株式会社小松製作所 東京都港区赤坂2丁目3番6号

⑳ 代 理 人 弁理士 米原 正章 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) プレス本体1の上部に設けられたクラウン1aの下方に、該クラウン1a内に収容されたスライド駆動機構2により上下動されるスライド3を設けたプレスにおいて、上記クラウン1a側に上部ロック部材5と駆動手段6により交互に出没される複数のロックピン7a、7bを、そしてスライド3側には上記ロックピン7a、7bが挿入される長孔8aが上下方向に一定のピッチPで穿設された下部ロック部材8を設け、またクラウン1aとスライド3の間に、スライド3の停止位置を検出する位置検出機構10を設けると共に、上記位置検出機構10が検出した信号より上記駆動手段6を動作させて、ロックピン7a、7bを下部ロック部材8の長孔8a内へ挿入するようにしてなるプレスのスライドロック装置。

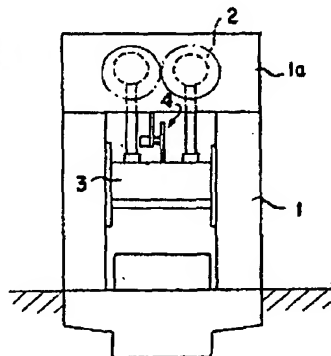
(2) 上記スライド位置検出機構10を、上部ロック部材8の長孔8aと同一間隔でドッグ11aを突設したカム部材11と、上記ドッグ11aにより動作されるリミットスイッチ13により構成してなる請求項1記載のスライドロック装置。

図面の簡単な説明

図面はこの考案の一実施例を示し、第1図はプレス本位の全体的な概略構成図、第2図はこの装置の拡大正面図である。

1はプレス本体、1aはクラウン、2はスライド駆動機構、3はスライド、5は上部ロック部材、6は駆動手段、7a、7bはロックピン、8は下部ロック部材、8aは長孔、10はスライド位置検出機構、11はカム部材、11aはドッグ、13はリミットスイッチ。

第 1 図



第 2 図

